

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題		
I-1-(2)-⑤ 子どもの特性を伸ばす教育の充実	博物館セカンドスクール事業	自然史・歴史博物館普及課	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図るものである。	学校団体誘致数	799団体 (H15年度)	目標 1,000 団体	1,000 団体	1,000団体以上 (毎年度)	2,444	1,939	1,388	16,075	課長 0.05 人	順調	リニューアル効果による大幅な実績増となった平成25年度に比べ、達成率は減少したが、目標どおりの誘致活動を実施し、目標以上の団体数と入館者数を達成したため、順調とした。	順調	【評価理由】 博物館については、学校団体及び学校関係入館者数、文学館については、企画展入館者数がそれぞれ目標値を達成していることから順調と判断。	将来への効果的な知的投資に繋がる事業、集客につながる事業を見極めて予算を確保する。		
					達成率 137.0 %	126.3 %	62,542人 (H15年度)												目標 70,000 人	70,000 人
	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数(単位:人)	10,741人 (H23年度)	目標 13,000 人	22,000 人	22,000人 (H26年度)	20,452	20,218	18,923	12,625	課長 0.50 人	順調	企画展開催回数および入館者数ともに目標を大きく上回ったため、順調と判断。					
						実績 13,211 人	26,564 人						係長 0.50 人							
						達成率 101.6 %	120.7 %						職員 0.25 人							
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	NPO・ボランティア活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数(累計)	18法人 (H24年度)	目標 30 法人	45 法人	75法人 (H28年度)	19,053	16,233	15,314	20,700	課長 0.30 人	順調	新規設立NPO法人数及びサポートセンター利用者数が目標を達成しており、市民活動は促進しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の評価指標「新規設立NPO法人数」「市民活動サポートセンター利用者数」は目標を上回っており、市民活動の活性化に寄与していると考えられるため、順調と判断した。	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。		
					達成率 103.3 %	104.4 %	18,362人 (H20年度)	目標 21,000 人											23,000 人	24,000人 (H28年度)

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
II-1-(1)-② 市民の消費生活の安定と向上	消費者啓発の推進	消費生活センター	消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が自主性を持って健全な消費生活を営むことができるよう支援する。	消費生活センターの認知度	92% (H23年度)	目標	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	21,345	15,942	38,701	8,075	課長	0.05 人	順調	消費生活センターの認知度及び、消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合とともに目標を上回ったため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 消費生活センターの認知度及び、消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合とともに目標を上回ったため「順調」と判断。  【課題】 今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、成果指標の向上を図るとともに、消費者啓発・教育の充実により、被害防止に取り組んでいく必要があると考える。	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。
					実績	88 %	92.4 %													
					達成率	97.8 %	102.7 %													
				消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	91.5% (H26年度)	目標	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)											
					実績	91.5 %	91.5 %													
					達成率	101.7 %	101.7 %													
				消費者トラブルを解決した市民の割合	—	目標	74 %	74 %	—											
					実績	57 %	57 %													
					達成率	77.0 %	77.0 %													

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度	人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	
II-1-(3)-① 「(仮称)北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	北九州市安全・安心条例普及・啓発事業	安全・安心推進課	安全・安心を実感できるまちの実現のため、(仮称)安全・安心条例を制定し、本条例の制定趣旨・目的等について理解を深めるための周知・啓発活動を積極的に行う。	市民が感じる治安状況 (体感治安)	77% (平成25年)	目標	前年度(77%)比増	平成31年度90%	5,000	6,171	—	15,900	課長	0.10人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回りましたが、出前講演(目標24回→実績25回)と啓発活動の実施回数(目標12回→実績15回)は目標を上回り、安全・安心に関する意識の向上に貢献したため、「順調」と判断。			
						実績	73%						係長	0.35人					
						達成率	95.0%						職員	1.50人					
	安全・安心力向上促進事業	安全・安心推進課	本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるとはいえ、体感治安の十分な改善には至っておらず、安全・安心に関する意識の高揚や情報提供が強く求められている。このため、犯罪被害を防止する上で特に配慮すべき子ども・女性・高齢者等への啓発活動強化や小学校における「地域安全マップづくり」の拡充を図るとともに、GISを活用した防犯情報などの提供により安全・安心を実感できるまちの実現を目指す。	市民が感じる治安状況 (体感治安)	12,372件 (平成25年)	目標	前年件数(12,372件)減	平成31年度8,000件	12,000	10,519	—	15,900	課長	0.10人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回りましたが、刑法犯認知件数は、着実に減少しているため、「順調」と判断。			
						実績	11,267件						係長	0.35人					
						達成率	1,105件減						職員	1.50人					
		安全・安心力向上促進事業	安全・安心推進課	本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるとはいえ、体感治安の十分な改善には至っておらず、安全・安心に関する意識の高揚や情報提供が強く求められている。このため、犯罪被害を防止する上で特に配慮すべき子ども・女性・高齢者等への啓発活動強化や小学校における「地域安全マップづくり」の拡充を図るとともに、GISを活用した防犯情報などの提供により安全・安心を実感できるまちの実現を目指す。	市民が感じる治安状況 (体感治安)	77% (平成25年)	目標	前年度(77%)比増	平成31年度90%	16,500	11,961	—	15,900	課長	0.10人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回りましたが、街頭犯罪件数は、着実に減少しているため、「順調」と判断。		
							実績	4,973件						係長	0.35人				
							達成率	239件減						職員	1.50人				
	安全・安心を高める防犯環境整備事業	安全・安心都市整備課	防犯の視点を加えた施設整備を市内に拡げていくためのモデル事業であり、平成26年度は市内1校区を選定し実施。対象施設は、道路、公園、学校(外構)、公共施設を中心に防犯まちづくりという新たな視点で点検・ワークショップを実施し、その結果を反映させながら、より安全・安心な施設整備を目指す。また、防犯まちづくりの専門家(大学講師等)を招き、施設整備に係る行政担当者やコンサルタント、建設会社等を対象として、犯罪が起こりにくい環境づくりの考え方の周知促進を図るためのシンポジウム等を開催。	市民が感じる治安状況 (体感治安)	12,372件 (平成25年)	目標	前年件数(12,372件)比減	平成31年度8,000件	2,900	2,429	—	10,550	課長	0.20人	順調	市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、刑法犯認知件数は着実に減少しているため、「順調」と判断。			
						実績	11,267件						係長	0.30人					
						達成率	1,105減						職員	0.70人					
安全・安心を高める防犯環境整備事業		安全・安心都市整備課	防犯の視点を加えた施設整備を市内に拡げていくためのモデル事業であり、平成26年度は市内1校区を選定し実施。対象施設は、道路、公園、学校(外構)、公共施設を中心に防犯まちづくりという新たな視点で点検・ワークショップを実施し、その結果を反映させながら、より安全・安心な施設整備を目指す。また、防犯まちづくりの専門家(大学講師等)を招き、施設整備に係る行政担当者やコンサルタント、建設会社等を対象として、犯罪が起こりにくい環境づくりの考え方の周知促進を図るためのシンポジウム等を開催。	市民が感じる治安状況 (体感治安)	77% (平成25年)	目標	前年度(77%)比増	—					課長	0.10人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回っているが、各種犯罪件数は減少し、施策を構成する生活安全パトロール隊による参加人数も増加(1校区あたりの年間延べ活動参加人数1,436人→1,798人)していることから、おおむね「順調」と判断。	犯罪件数の減少に体感治安が伴うよう、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るとともに、効果的・効率的に安全・安心に関する情報や取り組みを市内外に発信していく。		
						実績	73%						係長	0.35人					
						達成率	95.0%						職員	1.50人					

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性										
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題												
II-1-(3)-② 防犯活動の強化	地域防犯対策事業	安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、地域の自主防犯活動を行う生活安全パトロール隊の支援や小学校で防犯教室を行うなど市民の防犯意識を高め、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年比 (5,445件) 減	前年比減	—	36,681	34,443	59,952	15,900	課長	0.10	人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回りましたが、街頭犯罪件数は、着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進するための事業として引き続き取り組んでいく。											
					実績	5,212 件	4,973 件																							
					達成率	233件減	239件減																							
				市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	80 %	前年度比増	平成31年度 90%												155,518	169,313	150,887	10,800	課長	0.20	人	順調	市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。	順調	【評価理由】 市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。  【課題】 本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるが、体感治安の向上に繋がっていない。
					実績	77 %	73 %																							
					達成率	96.3 %	95.0 %																							
	防犯灯設置事業	安全・安心都市整備課	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置。防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のため費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進。	刑法犯認知件数	目標	前年比減 (12,409 件)	前年件数 (12,372件) 比減	平成31年度 8,000件	155,518	169,313	150,887	10,800	課長	0.20	人	順調	市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、刑法犯認知件数は着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。  【課題】 本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるが、体感治安の向上に繋がっていない。											
					実績	12,372 件	11,267 件																							
					達成率	37件 減	1,105件 減																							
				市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	80 %	前年度比増	—												105,000	108,518	39,373	5,400	課長	0.10	人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回ったが、繁華街における犯罪発生件数は着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。  【課題】 本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるが、体感治安の向上に繋がっていない。
					実績	77 %	73 %																							
					達成率	96.3 %	95.0 %																							
防犯カメラ事業	安全・安心都市整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理、運用を行う。	繁華街における犯罪発生件数	目標	件数減 (前年 比)	件数減 (前年 比)	—	105,000	108,518	39,373	5,400	課長	0.10	人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回ったが、繁華街における犯罪発生件数は着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。  【課題】 本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるが、体感治安の向上に繋がっていない。												
				実績	12件減 (1%減)	166件減 (13%減)																								
				達成率	—	—																								
			市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	80 %	前年度比増	—												105,000	108,518	39,373	5,400	係長	0.20	人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回ったが、繁華街における犯罪発生件数は着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民が感じる治安状況は目標を下回ったが、防犯カメラの増設や運用管理は計画どおりであり、街頭犯罪件数も減少していることから順調であると判断。  【課題】 本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるが、体感治安の向上に繋がっていない。	
				実績	77 %	73 %																								
				達成率	96.3 %	95.0 %																								

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題		
II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	暴力追放の推進	安全・安心相談センター	社会全体で暴力団を排除する取り組みを推進するため、事業者・市民の暴排意識を高める市民暴力追放総決起大会や暴力追放強調月間による集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。	暴力団対策に対する市民の評価	目標	前年度(52%)比増	前年度比増	—	12,321	9,356	15,403	12,850	課長	0.40	順調	暴力追放意識の高揚と暴排気運の情勢を図ることを目的に、暴追大会や研修会等を計21回開催し、目標を達成した。また、暴力追放に対する市民の評価が増加していることから、順調と判断。	順調	目標を達成し、適切な業務を実施しているため、順調と判断。また、市民の評価は、増加しているが、更なる割合の増加をいかに進めていくかが、今後の課題である。	暴力追放の推進は、市民生活のみならず、本市が都市として発展していくうえでも必要不可欠な事業であるため、継続的に事業を行っていく。	
					実績	48%	68%						係長	0.30						
					達成率	92.3%	142.0%						職員	0.70						
				目標	前年度(52%)比増		—													
	民事介入暴力相談事業	安全・安心相談センター	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施。	暴力団対策に対する市民の評価	目標	前年度(52%)比増	前年度比増	—	26,743	25,691	25,404	4,300	課長	0.20	順調	3名の常駐の専門相談員が民事介入暴力相談を受け、警察や弁護士と連携し、適切な相談を実施できたことから、順調と判断。	順調	目標を達成し、適切な業務を実施しているため、順調と判断。また、市民の評価は、増加しているが、更なる割合の増加をいかに進めていくかが、今後の課題である。	暴力追放の推進は、市民生活のみならず、本市が都市として発展していくうえでも必要不可欠な事業であるため、継続的に事業を行っていく。	
					実績	48%	68%						係長	0.20						
					達成率	92.3%	142.0%						職員	0.00						
				目標	前年度(52%)比増		—													
企業における暴力団排除条項の規定割合	52% (平成24年)	目標	前年度(52%)比増		—	107.3%														
		実績	55.8%																	
		達成率	107.3%																	
		目標	前年度(52%)比増																	

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	第8次交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数 (警察統計のため暦年でカウント)	目標	8,951 件	前年比減	平成27年度までに8,000件以下	6,913	5,773	6,256	9,800	課長	0.20 人	順調	小学校等での交通安全教室の参加者が目標を大幅に上回っている。前年比較で交通事故死者数は1人増加したが、交通事故の発生件数は大きく減少したため、「順調」と判断。	局施策評価	局施策評価の理由および課題	H28年度 施策の方向性	
					実績	8949 件	8325 件						係長	0.30 人						
					達成率	2件減	624件減						職員	0.60 人						
	交通安全センター管理運営	安全・安心都市整備課	市立交通安全センターを管理(指定管理)するとともに、交通公園内外における交通ルール・マナーの徹底を図り、自転車の安全運転を促進する。	交通事故の発生件数 (警察統計のため暦年でカウント)	目標	8000 件	前年比減	平成27年度までに8,000件以下	27,573	27,573	27,350	3,650	課長	0.10 人	大変順調	交通公園の入場者数、安全教室の開催数が目標を上回っている。(目標187,715人→実績234,330人)交通事故発生件数、自転車事故発生件数ともに前年比較で減少したため、「大変順調」と判断。	大変順調	局施策評価の理由および課題		
					実績	8949 件	8325 件						係長	0.10 人						
					達成率	2件減	624件減						職員	0.20 人						
	交通事故のないまちづくり推進事業	安全・安心都市整備課	「北九州市安全・安心条例」の制定を契機として、自転車利用者の安全運転に関する意識の更なる高揚を図る事業を実施し、自転車の安全利用を推進。 ・交通ルールを守ることや自転車の保険加入などの不足の事態に備えることなどを啓発する参加・体験型イベントの開催 ・自転車ルール検定の実施 ・自転車ルールマナーを啓発するDVDの作成・活用 など	自転車関連事故の発生件数 (警察統計のため暦年でカウント)	目標	前年比較 (1,136 件)	前年比減	—	2,800	1,977	—	5,400	課長	0.10 人	大変順調	自転車交通ルール検定等の活動が目標を上回っている。(検定参加校62校安全教室開催数571回)前年比較で、自転車事故発生件数が減少したため、「大変順調」と判断。	大変順調	局施策評価の理由および課題		
					実績	1069 件	972 件						係長	0.20 人						
					達成率	67件減	97件減						職員	0.30 人						
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	地域防犯対策事業	安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、地域の自主防犯活動を行う生活安全パトロール隊の支援や小学校で防犯教室を行うなど市民の防犯意識を高め、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年比 (5,445件) 減	前年比減	—	36,681	34,443	59,952	15,900	課長	0.10 人	順調	市民が感じる治安状況は、目標を下回りましたが、街頭犯罪件数は、着実に減少しているため、「順調」と判断。	順調	局施策評価の理由および課題		
					実績	5,212 件	4,973 件						係長	0.35 人						
					達成率	233件減	239件減						職員	1.50 人						
				市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	80 %	前年度比増	平成31年度 90%	77 %	73 %	96.3 %	95.0 %								
					実績	77 %	73 %													
					達成率	96.3 %	95.0 %													

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度			H25年度			人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題				
II-3-(4)-① 平和の尊さへの理解の促進	戦時資料展示コーナー管理運営事業	地域振興課	本事業は、市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管、展示することにより、北九州市立埋蔵文化財センター内に開設した戦時資料展示コーナーにおいて、戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただく。	戦時資料展示コーナー見学者数	3,647人 (H22年度)	目標 4,000人 実績 3,602人 達成率 90.1%	4,000人 3,986人 99.7%	4,000人 (平成28年度)	1,485	1,444	1,438	1,220	課長 係長 職員	0.03人 0.05人 0.05人	順調	市民への広報活動が目標どおりに行われており、見学者数も増加し、ほぼ目標を達成していることから順調とした。	順調	【評価理由】 市民への広報活動が358件と目標どおりに行われており、見学者数もほぼ目標を達成しているため順調と判断。 【課題】 引き続き多くの市民に会場に来ていただくよう、チラシの配布先の拡充等に努める必要がある。	戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただくため、引き続き様々な機会を捉えて広報活動を実施し、入場者の増加を図っていく。			
III-1-(1)-④ 市民のモラル・マナーの向上	モラル・マナーアップ関連条例推進事業	安全・安心都市整備課	条例や基本計画に基づき下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区(迷惑行為防止重点地区)での巡視活動(過料の適用) ・地域が実施する迷惑行為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモラル・マナーアップ教育 ・モラルマナーアップに関する広報啓発	モラル・マナーアップ関連条例に基づく過料適用件数の削減(小倉都心地区、黒崎副都心地区)	過料適用当初 小倉3.9件/1日(H21年度) 黒崎1.9件/1日(H22年度)	目標 単年度目標設定なし 実績 小倉41.0%削減 黒崎10.5%増 達成率 —%	小倉30%削減 黒崎20%削減 小倉30%削減 黒崎20%削減(H26年度)	30,500	28,401	37,491	6,150	課長 係長 職員	0.10人 0.20人 0.40人	順調	「迷惑行為防止重点地区での巡視活動回数」及び「迷惑行為防止重点地区の取組に関する広域的な広報・啓発活動回数」の活動指標については目標を達成した。 「モラル・マナーアップ関連条例に基づく過料適用件数の削減」の成果指標については、小倉都心地区は目標値30%削減を下回り20.5%削減、黒崎副都心地区は目標値20%削減に対して21.1%増に転じたものの、「路上喫煙率」の成果指標では、過料適用前(小倉0.99/100人(H20年度)、黒崎1.21/100人(H21年度))と比較して大きく減少していることから、「順調」と判断。	【評価理由】 路上喫煙率が前年度より減少しており、一定の成果を収めているため「順調」と判断。 【課題】 更なる周知のため、広報・啓発の強化が必要。	基本計画(第2次計画)に掲げた、目標達成に向けて取り組みの充実・強化を図る。					
III-2-(1)-② 地域における伝統文化の発掘・継承	文化財保存補助	文化企画課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体(H26年度)	目標 17団体 実績 16団体 達成率 94.1%	17団体 16団体 94.1%	—	1,097	1,007	1,162	11,050	課長 係長 職員	0.20人 0.50人 0.50人	順調	保存団体への周知と適切な協議を行い、事業を進めることができたため、「順調」と判断。	【評価理由】 保存団体への周知と適切な協議を行い、事業を進めることができたため、「順調」と判断。 【課題】 指定無形民俗文化財の保存団体の自主的な申請に対して補助を行うもので、急激に申請件数が増加するものではないが、引き続き、保存団体に対して周知を行っていく。	本事業の補助金は、市の指定無形民俗文化財保存団体が行う伝承者の養成や文化財の公開のほか、用具の購入や修理の費用の一部に充てられており、子どもたちに対する技術の伝承など、伝統文化の保存・継承につながっている。補助金事業は、文化財保存団体の活動の強化につながる有益な手段となっていることから、今後も引き続き継続していく。				

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性										
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題												
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い 文化芸術の振興	芸術文化活性化事業	文化企画課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナルのある演奏会を実施。	北九州芸術劇場・自主事業 入場率	目標	80 %	80 %	—	170,389	113,391	160,590	3,550	課長	0.05 人	順調	北九州芸術劇場については、高レベルの舞台芸術が提供され、入場率も目標値を上回った。 響ホール事業については、入場率の面で目標を若干下回ったものの、著名なアーティストのみならず、若手や地元で活躍する演奏家を活用するなど幅広いラインナップをそろえ、来場者の満足度は高かった(アンケート回答者の約86%が内容に満足)。 これらから、本市の文化芸術をけん引する発信力の高い事業が実施されたものと評価し、事業評価を「順調」とした。	順調	【評価理由】 北九州芸術劇場・響ホール等を中心に、高レベルの演劇・音楽を提供できた。これが、各事業の入場率の高さや参加者の満足度の高さに表れており、本市の文化・芸術の魅力が国内外に発信できたものと考えている。 今後とも、事業規模や内容について検討し、効率性や収支の観点も加えながら、情報発信・まちの魅力づくりに効果的な事業となるよう取り組んでいく必要がある。	今後とも発信力の高い、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事内容を検討し、効率性や収支の観点も加えながら、事業規模を維持していきたい。											
					実績	88 %	89 %																							
					達成率	110.0 %	111.3 %																							
					目標	65 %	65 %																							
					実績	82 %	60 %																							
					達成率	126.2 %	92.3 %																							
北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、27年度で28回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州国際音楽祭の満足度の割合	目標	85 %	85 %	—	40,000	28,120	28,320	1,625	課長	0.05 人	順調	国際音楽祭は本年も本市出身で世界で活躍するアーティストをはじめ、国内外の一流の演奏家を招いて実施された。 公演数や公演スケジュールの関係で、入場者数は目標値を若干下回ったものの、満足度は一昨年に引き続き非常に高く、本市の文化振興に大きく寄与したと評価できることから、事業評価を「順調」とした。	順調	さらなる魅力づくりのため、効果的な事業を検討・実施する必要がある。													
				実績	99 %	99 %																								
				達成率	116.5 %	116.5 %																								
				目標	16 事業	16 事業													—	40,450	41,361	40,250	5,825	課長	0.05 人	順調	助成団体は前年と同程度の16団体で、各団体のイベントは予定どおり実施され、多数の来場があった。この助成制度の存在により、市民レベルでの文化活動を支える一定の効果があることから、事業評価を「順調」とした。	順調	【評価理由】 市民の自主的な文化・芸術活動に対して助成を行い、目標値を達成するレベルで市民活動の促進を図ることができていることから順調と判断。	これらの助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後とも必要なものである。
				実績	16 事業	16 事業																								
				達成率	100.0 %	100.0 %																								
目標	25 件	25 件	—	12,288	9,014	10,739	3,825	課長	0.05 人	順調	限りある予算のため助成件数には限界があるものの、H26年度も市民の自主的な芸術・文化活動に対し、一定の件数の助成を行うことができたため、事業評価を「順調」とした。	順調	【課題】 この助成制度は、積極的に文化活動を展開している文化団体等の活動を支えていることから、文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、継続することが必要と考えている。	個別の助成の必要性等を検討しながら、事業を継続していきたい。																
実績	22 件	20 件																												
達成率	88.0 %	80.0 %																												
目標	25 事業	16 事業													—	40,450	41,361	40,250	5,825	課長	0.30 人	順調	助成団体は前年と同程度の16団体で、各団体のイベントは予定どおり実施され、多数の来場があった。この助成制度の存在により、市民レベルでの文化活動を支える一定の効果があることから、事業評価を「順調」とした。	順調	【評価理由】 市民の自主的な文化・芸術活動に対して助成を行い、目標値を達成するレベルで市民活動の促進を図ることができていることから順調と判断。	これらの助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後とも必要なものである。				
実績	16 事業	16 事業																												
達成率	100.0 %	100.0 %																												
目標	25 件	25 件	—	12,288	9,014	10,739	3,825	課長	0.10 人	順調	限りある予算のため助成件数には限界があるものの、H26年度も市民の自主的な芸術・文化活動に対し、一定の件数の助成を行うことができたため、事業評価を「順調」とした。	順調	【課題】 この助成制度は、積極的に文化活動を展開している文化団体等の活動を支えていることから、文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、継続することが必要と考えている。	個別の助成の必要性等を検討しながら、事業を継続していきたい。																
実績	22 件	20 件																												
達成率	88.0 %	80.0 %																												
目標	16 事業	16 事業													—	40,450	41,361	40,250	5,825	課長	0.30 人	順調	助成団体は前年と同程度の16団体で、各団体のイベントは予定どおり実施され、多数の来場があった。この助成制度の存在により、市民レベルでの文化活動を支える一定の効果があることから、事業評価を「順調」とした。	順調	【評価理由】 市民の自主的な文化・芸術活動に対して助成を行い、目標値を達成するレベルで市民活動の促進を図ることができていることから順調と判断。	これらの助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後とも必要なものである。				
実績	16 事業	16 事業																												
達成率	100.0 %	100.0 %																												
目標	25 件	25 件	—	12,288	9,014	10,739	3,825	課長	0.30 人	順調	限りある予算のため助成件数には限界があるものの、H26年度も市民の自主的な芸術・文化活動に対し、一定の件数の助成を行うことができたため、事業評価を「順調」とした。	順調	【課題】 この助成制度は、積極的に文化活動を展開している文化団体等の活動を支えていることから、文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、継続することが必要と考えている。	個別の助成の必要性等を検討しながら、事業を継続していきたい。																
実績	22 件	20 件																												
達成率	88.0 %	80.0 %																												



平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会 の拡大	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	目標	300,000 人	300,000 人	—	118,543	102,029	136,600	36,750	課長	0.25 人	やや遅れ	平成25年度に黒崎市民ギャラリーが開館したことにより、展覧会の開催回数は141回と目標の70回を大幅に上回ったが、歴代13位の観覧者数となった企画展も開催したものの、年間総入場者数は目標の8割程度となった。本館での大型企画展が無かったこともあり、コレクション展の観覧者数は、目標には大幅に達しなかったため、やや遅れと判断した。	順調	【評価理由】 美術館については目標人数に達していないが、展覧会の回数を増やし、市民が文化芸術に接する機会を拡大している。博物館については、魅力ある企画展や特別展が効果的であったと思われる。目標人数を上回っている。以上のことから順調と判断。  【課題】 入館者数の増に繋がるような魅力ある展示会や企画展を開催し、美術・文化の振興、学術文化の発展を推進していく必要があると考える。	市民が文化芸術に接する機会を拡大し、入館者数の増に繋がるように事業を精査し検討していきたい。	
					実績	363,190 人	245,420 人						係長	0.65 人						
					達成率	121.1 %	81.8 %						職員	3.65 人						
				コレクション展の観覧者数	目標	50,000 人	50,000 人	—					50,000 人	50,000 人						—
	実績	48,010 人	11,713 人	係長	1.80 人															
	達成率	96.0 %	23.4 %	職員	5.40 人															
博物館企画展・特別展充実事業	自然史・歴史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことにより、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。 (平成26年度特別展) ・春の特別展「まるごと猫展」(3月15日～6月1日)、 ・夏の特別展「THEモンスター展～自然界の怪物たち～」(7月19日～9月23日)、 ・秋の特別展「メタルズ!-変容する金属の美-」(11月1日～12月23日)、 ・春の特別展「地球からの贈り物展」(3月21日～5月10日) など	博物館総入館者数	目標	350,000 人	430,000 人	—	49,600	47,867	54,672	74,600	課長	1.40 人	順調	夏の特別展など誘客力の高い企画や展示演出により、目標を上回る入館者数を達成することができたため順調とした。	順調	【評価理由】 美術館については目標人数に達していないが、展覧会の回数を増やし、市民が文化芸術に接する機会を拡大している。博物館については、魅力ある企画展や特別展が効果的であったと思われる。目標人数を上回っている。以上のことから順調と判断。  【課題】 入館者数の増に繋がるような魅力ある展示会や企画展を開催し、美術・文化の振興、学術文化の発展を推進していく必要があると考える。	市民が文化芸術に接する機会を拡大し、入館者数の増に繋がるように事業を精査し検討していきたい。		
				実績	622,701 人	474,939 人						係長	1.80 人							
				達成率	177.9 %	110.5 %						職員	5.40 人							

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担い手の育成	芸術文化体験事業	文化企画課	通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子どもたちが身近に芸術文化を体験できるように、地元文化団体等が企画した芸術体験プログラム(ワークショップ等)を夏休み期間中に集中的に実施し、親子で芸術文化を楽しむ機会の拡充に努める。	子ども文化ふれあいフェスタ参加者の満足度	目標	90 %	90 %	—	4,738	5,093	5,013	8,725	課長	0.15 人	順調	子ども文化ふれあいフェスタは、子どもたちが日頃あまり接することがない伝統芸能(日本舞踊・いけばな等)を中心とした体験型のイベントであり、子どもたちが文化に触れる貴重な機会を提供している。イベントに対する申込・満足度ともに目標値を超えており、実施コストも外部委託を活用して抑制していることから、事業評価を「順調」とした。	局施策評価	局施策評価の理由および課題	本市の文化・芸術の振興にあたり、次世代の担い手の育成は非常に重要な課題である。順調に事業を実施していることから、引き続き、事業の継続や拡大等について検討していく。	
					実績	94 %	96 %						係長	0.40 人						
					達成率	104.4 %	106.7 %						職員	0.40 人						
	現代美術センター・CCA北九州支援事業	文化企画課	CCA北九州は、現代美術の世界的な拠点のひとつとなることを目指して活動している研究・学習機関です。国内外から集まる現代美術の若手アーティスト等の指導育成、招聘アーティストによる新作発表のための展覧会、国内外の第一線で活躍する学芸員による「キュレーターミーティング」を開催するとともに、CCA北九州のネットワークを活かして、その活動を広く市民に浸透させるための市民美術大学美術講座、子ども向けワークショップなどの事業を行っている。	リサーチプログラムの受講者数	目標	6 人	6 人	—	52,308	52,289	57,582	8,150	課長	0.10 人	順調	リサーチプログラムの受講者数は目標値を達成した。また、CCA北九州の事業への参加者は前年に比べ約12%増加した。これは、幅広い階層へ人気の市民美術大学や子ども向けのワークショップなど、多様な講座・展覧会の開催を行った結果であると考えられる。以上から、事業評価を「順調」とした。	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
					実績	5 人	6 人						係長	0.70 人						
					達成率	83.3 %	100.0 %						職員	0.00 人						
				CCA北九州事業参加者人数	目標	2200 人	2200 人	—	11,000	10,042	9,817	9,300	課長	0.20 人	やや遅れ	全国ブロック数も平成25年度より2ブロック多い地域からの応募があり、応募総数(1,041件)および市内からの応募数(405件)も昨年度より伸び、目標に近づいたため、順調と判断。	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
					実績	1920 人	2153 人						係長	0.40 人						
					達成率	87.3 %	97.9 %						職員	0.40 人						
	子どもノンフィクション文学賞	文学館	「ノンフィクション」というジャンルの作文を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、平成21年度に全国の小中学生を対象に創設した。	市内からの応募割合	目標	50 %	50 %	50% (H26年度)	11,000	10,042	9,817	9,300	課長	0.20 人	やや遅れ	全国ブロック数も平成25年度より2ブロック多い地域からの応募があり、応募総数(1,041件)および市内からの応募数(405件)も昨年度より伸び、目標に近づいたため、順調と判断。	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
実績					39 %	39 %	係長						0.40 人							
林芙美子文学賞事業	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。	市内からの応募割合	目標	400 件	400 件	—	16,000	15,184	—	5,825	課長	0.05 人	大変順調	目標をはるかに超える応募数があり、作品の質についても最終選考委員などから高い評価をもらったため大変順調と判断。	局施策評価	局施策評価の理由および課題			
				実績	1,602 件	1,602 件						係長	0.30 人							
				達成率	400.5 %	400.5 %						職員	0.30 人							
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	来館者年間10万人	目標	100,000 人	100,000 人	10万人/年	57,063	52,672	59,465	44,000	課長	1.00 人	順調	目標としている年間10万人の来館者数におおむね達し、順調と判断。	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
					実績	102,547 人	92,819 人						係長	1.00 人						
					達成率	102.5 %	92.8 %						職員	3.00 人						

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
市民体育祭		スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭参加者数 (~H25)	目標	58,000 人			—	9,000	9,000	9,000	2,650	課長	0.10 人	順調	雨天等で日時の変更や中止となった事業があったが、目標を上回る参加者数となり、「順調」と判断。			
					実績	57,499 人														
					達成率	99.1 %														
				市民体育祭選手参加者数 (H26~)	目標		30,000 人	30000人 (維持)												
実績	30367人 (H26年度)	30,367 人																		
達成率		101.2 %																		
生涯スポーツ振興事業		スポーツ振興課	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、交流大会、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12371人 (H26年度)	目標	12,600 人	12,000 人	H30年度までに30000人	20,800	19,074	19,567	990	課長	0.01 人	順調	目標を上回る参加者数となり、「順調」と判断。			
						実績	12,549 人	12,371 人						係長	0.05 人					
						達成率	99.6 %	103.1 %						職員	0.05 人					
Ⅲ-2-(3)-① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブである。多世代、多目的、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものであり、この果たす役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1800人 (H22年度)	目標	2,300 人	2,500 人	H32年度までに4000人	3,859	3,458	3,397	2,325	課長	0.05 人	順調	昨年度より会員数が増加していることから、概ね「順調」と判断。	順調		
						実績	2,320 人	2,343 人												
						達成率	100.9 %	93.7 %												
						職員	0.10 人													
夢・スポーツ振興事業		スポーツ振興課	2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため選手個々の能力を高める事業を実施。	強化講習会等の実施	—	目標		教室・強化講習会等実施	教室・強化講習会等実施継続	4,100	3,950	—	6,305	課長	0.02 人	順調	滞りなく教室・強化講習会等を実施しており、参加者も目標の100人を上回る210人を達成したため「順調」と判断。			
						実績		教室・強化講習会等実施												
						達成率		— %												
北九州マラソン開催事業		スポーツ振興課	・主催：北九州市、(一財)福岡陸上競技協会 ・主管：北九州マラソン実行委員会 ・後援：国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所ほか24団体(予定) ・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数(予定) マラソン：10,000名、ベアリレーマラソン：100組200名、ファンラン(3km又は5km)：1,000名 ・大会当日および前日に関連イベントを開催	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円 (H25年度)	目標	10 億円	H26年度は未測定	—	70,000	70,000	108,000	63,750	課長	2.50 人	順調	日本最大級のランニングポータルサイトにおいて、全国のランナーから多くの好評の口コミがあった(スタート・ゴール地点のアクセスの良さ、平坦で走りやすいコース等)ことに加え、当日も多く市民から沿道での応援をいただくなど、大きな盛り上がりを見せているため「順調」と判断。			
						実績	10.5 億円													
						達成率	105.0 %	— %												
				インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング(参加者7,000人以上の大会を対象)	3位 (H27年.8月時点)	目標		1 位	1位 (H31年度)											
						実績		3 位												
						達成率		— %												
職員	2.00 人																			
職員	2.00 人																			

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-2-(3)-② スポーツを通じたにぎわいづくり	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内において国際大会・全国規模の大会の開催を行い、多くの市民にスポーツに関心を高め、「みる」スポーツのニーズを引き出したり、スポーツに取り組むきっかけをつくる。また、高度なレベルの技術などを目にするすることで、個々の競技力の向上につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	目標 19回 実績 30回 達成率 157.9%	21回 29回 138.1%	30回 (H32年度)	3,540	2,900	3,700	2,615	課長 0.01人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	関係団体の協力を得ることで全国大会等のスポーツ大会開催数は目標を上回り、スポーツイベントの参加人数も目標を達成しているため、「順調」と判断。					
	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標 90% 実績 89% 達成率 98.9%	90% (H27年度)	60,000	60,000	60,000	3,075	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.20人	やや遅れ	ギラヴァンツ北九州の市民認知度は、ほぼ目標どおりとなったが、主催試合の平均入場者数が目標に届かなかったため、「やや遅れ」と判断。	順調	【評価理由】『スポーツを通じたにぎわいづくり』のため、本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」の支援や、大規模国際大会及び全国大会等の誘致事業を実施している。 【課題】「ギラヴァンツ北九州」への支援を各事業において設定している成果指標の目標に届いていない部分もあるが、活動状況については各事業とも積極的に活動しており『スポーツを通じたにぎわいづくり』に寄与していることから「順調」と判断。	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市唯一のプロスポーツチームとして、市民への定着を目指す。また、プロスポーツの観戦招待や国際大会・全国大会等の開催、ラグビーワールドカップ2019等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちのにぎわいづくりを図る。			
	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺プレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標 25% 実績 24% 達成率 96.0%	28% (H27年度)	34% (H27年度)	64,450	61,362	61,474	6,575	課長 0.05人 係長 0.15人 職員 0.60人	順調	市民のスポーツ観戦率については、前年度とほぼ同率で目標には届いていないが、活動状況として、「ギラヴァンツ北九州」ホームゲームの市民観戦招待者数は前年度とほぼ同数(17,516人)、「堺プレイザーズ」親子観戦招待者数は前年度比約2倍(809人)であるなど、市民がスポーツ観戦できる機会を積極的に提供している。また、本市にゆかりのあるプロスポーツチームを活用したスポーツ教室等を多数開催し、参加者より好評を得ていることなどから、「順調」と判断。					
	大規模国際大会の日本開催に向けた関連事業	大規模大会誘致推進室	生涯スポーツの振興とまちのにぎわいづくりを目的に、ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピック等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等に向けて、戦略的な誘致プロモーションの展開や、官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動及び「備品・設備」等の整備を実施。	ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数	—	目標 / 実績 / 達成率	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	129,500	120,805	—	23,250	課長 0.50人 係長 1.00人 職員 1.00人	順調	誘致委員会の開催回数としては、予定どおり2回実施しており、また、14ヶ国の大使館へのPR等も行っているなど、戦略的な誘致プロモーション活動等を積極的に実施しているため「順調」と判断。						
				シティプロモーションの一環としての国際大会誘致	1件	目標 / 実績 / 達成率	1件以上 (H31年度)													

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度			H25年度			人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題				
Ⅲ-2-(3)-③ スポーツ施設の整備	戸畑D街区スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	戸畑区内に点在し老朽化したスポーツ施設を、戸畑区役所横の浅生小・中学校等跡地 (D街区) に集約整備する。	年間利用者数	140,000人 (同地区既存施設利用者数<H24年度>)	目標	—	—	190,000人 (H30年度)	482,120	220,896	153,840	18,700	課長	0.30	順調	建築工事の入札不調により着工時期は遅れたが、H28年度供用開始に向けて概ね計画通り進捗していることから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 建築工事の入札不調により着工時期は遅れたが、H28年度供用開始に向けて概ね計画通り進捗していることから「順調」と判断。  【課題】 着工時期の遅れがあったことから、工事の進捗管理を適切に行う必要がある。	平成28年度の供用開始に向けて開館準備作業を進める。		
						実績	—	—						係長	1.00							
						達成率	— %	— %						職員	0.70							
Ⅲ-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体	目標	129 団体	136 団体	136団体	395,213	400,692	410,510	3,825	課長	0.05	順調	導入団体数は目標値に達しなかったが、働きかけを目標どおりに行い、導入団体数も増えてきていることから順調と判断。	順調	【評価理由】 目標値には届かなかったものの、地域総括補助金の導入団体が年々増えていること、地域カルテ事業や地域カルテフォローアップ事業が目標どおり行われていることから順調と判断。  【課題】 今後も、区役所コミュニティ支援課と連携しながら、地域の実情に応じた働きかけを継続的にいき、新たな地域課題解決に向けた取り組みを支援する等、住民主体の地域づくりに努めていく必要がある。	引き続き、地域が一体となった、住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、地域総括補助金の交付や、各種支援事業などの地域のニーズに応じた施策を展開する。		
						実績	128 団体	130 団体						係長	0.10							
						達成率	99.2 %	95.6 %						職員	0.30							
	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	地域情報や課題解決のアイデア等を盛り込んだ「地域カルテ」の作成や、まちづくり協議会の活性化を図るため、活動の参考となる事例の紹介等を行う「地域のちから」報告会や、「地域づくりマネジメント研修」を開催し、住民主体の地域づくりを促進する。	住民主体の新たな地域づくりが活発に行われている状態	目標	—	—	住民主体の新たな地域づくりが活発に行われている状態	7,055	5,352	6,118	3,575	課長	0.05	順調	地域がかかえる課題や、その解決に向けた取り組みの内容は様々であり、指標化は困難であるが、まちづくり協議会を中心とした住民主体の地域づくりは順調に進んでいること、地域カルテ事業や地域カルテフォローアップ事業が目標どおり行われていることなどから順調と判断。	順調	【評価理由】 目標値には届かなかったものの、地域総括補助金の導入団体が年々増えていること、地域カルテ事業や地域カルテフォローアップ事業が目標どおり行われていることなどから順調と判断。  【課題】 今後も、区役所コミュニティ支援課と連携しながら、地域の実情に応じた働きかけを継続的にいき、新たな地域課題解決に向けた取り組みを支援する等、住民主体の地域づくりに努めていく必要がある。	引き続き、地域が一体となった、住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、地域総括補助金の交付や、各種支援事業などの地域のニーズに応じた施策を展開する。			
					実績	—	—						係長	0.15								
					達成率	—	—						職員	0.20								
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設の活用・運営	市民センターの充実	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民(サブ)センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	—	目標	41 千人	42 千人	—	2,055,974	2,025,711	1,949,925	51,250	課長	1.00	順調	市民センターからの情報発信(ホームページなど)や、市民センター整備などを概ね計画どおりに進めた結果、利用者数やコミュニティ活動の参加者数はほぼ目標を達成していることから、順調と判断。	順調	【評価理由】 1館あたりの利用者数は前年度実績をやや上回っており、また、コミュニティ活動への参加人数も目標値を上回っている。さらに、市民センターの整備についても、地元調整に十分時間をかけながら、市民センターの改修を行っていく等、概ね順調に進んでいる。  【課題】 今後も、市民センターを市民が安心して利用できるよう、老朽化対策やバリアフリー化などのハード面の整備とともに、市民センター館長や職員の能力向上など、ソフト面の充実も図っていくことが必要。	引き続き、市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実にも努め、利用者の増加を図る。		
						実績	40 千人	41 千人						係長	1.50							
						達成率	97.6 %	97.6 %						職員	3.30							
				市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数(延べ)	—	目標	1,774 千人	1,955 千人	—	1,935 千人	2,084 千人	—	課長	0.03	やや遅れ	地域コミュニティ強化支援事業に取り組んだ団体数が目標値15団体に届かず(7団体)、また、地域づくり活動への参加意識の向上がまだまだ十分とはいえないため、やや遅れと判断。	順調	【評価理由】 目標値の達成率が平成25年度より減少しているが、これは目標値を上げたことも原因である。自治会・町内会の加入促進や活発化に繋がる広報・研修については、自治総連合会と連携しながら継続的に取り組んでいることを鑑み順調と判断する。  【課題】 今後も、世代に応じた働きかけや、マンション等の自治会加入促進に向けた取り組みなどにより、自治会町内会の活性化に努めていく必要がある。	住民が活動に積極的に参加する等自治会が活発化する状態を目指すため、広報や研修を行い理解を深めるとともに、地域の実情に応じた支援を行い、引き続き自治会・町内会の加入促進や活性化を図る。			
						実績	1,774 千人	1,955 千人					係長	0.30								
						達成率	109.1 %	106.6 %					職員	0.10								
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	75.4% (H23年度)	目標	80 %	85 %	85% (H27年度)	33,790	31,576	29,608	4,095	課長	0.03	やや遅れ	地域コミュニティ強化支援事業に取り組んだ団体数が目標値15団体に届かず(7団体)、また、地域づくり活動への参加意識の向上がまだまだ十分とはいえないため、やや遅れと判断。	順調	【評価理由】 目標値の達成率が平成25年度より減少しているが、これは目標値を上げたことも原因である。自治会・町内会の加入促進や活発化に繋がる広報・研修については、自治総連合会と連携しながら継続的に取り組んでいることを鑑み順調と判断する。  【課題】 今後も、世代に応じた働きかけや、マンション等の自治会加入促進に向けた取り組みなどにより、自治会町内会の活性化に努めていく必要がある。	住民が活動に積極的に参加する等自治会が活発化する状態を目指すため、広報や研修を行い理解を深めるとともに、地域の実情に応じた支援を行い、引き続き自治会・町内会の加入促進や活性化を図る。		
						実績	80.1 %	80.3 %						係長	0.30							
						達成率	100.1 %	94.5 %						職員	0.10							
				地域づくり活動への参加者の割合	40.5% (H23年度)	目標	43 %	46 %	46% (H27年度)	42 %	38.9 %	—	課長	0.03	やや遅れ	地域コミュニティ強化支援事業に取り組んだ団体数が目標値15団体に届かず(7団体)、また、地域づくり活動への参加意識の向上がまだまだ十分とはいえないため、やや遅れと判断。	順調	【評価理由】 目標値の達成率が平成25年度より減少しているが、これは目標値を上げたことも原因である。自治会・町内会の加入促進や活発化に繋がる広報・研修については、自治総連合会と連携しながら継続的に取り組んでいることを鑑み順調と判断する。  【課題】 今後も、世代に応じた働きかけや、マンション等の自治会加入促進に向けた取り組みなどにより、自治会町内会の活性化に努めていく必要がある。	住民が活動に積極的に参加する等自治会が活発化する状態を目指すため、広報や研修を行い理解を深めるとともに、地域の実情に応じた支援を行い、引き続き自治会・町内会の加入促進や活性化を図る。			
						実績	42 %	38.9 %					係長	0.30								
						達成率	97.7 %	84.6 %					職員	0.10								

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-3-(2)-① NPO、ボランティア活動の支援	NPO・ボランティア活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数 (累計)	目標	30 法人	45 法人	75法人 (H28年度)	19,053	16,233	15,314	20,700	課長	0.30 人	順調	新規設立NPO法人数及びサポートセンター利用者が目標を達成しており、市民活動は促進しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の評価指標「新規設立NPO法人数」「市民活動サポートセンター利用者数」「補助交付事業件数」「成果発表会の参加人数」は目標を上回っており、市民活動の活性化に寄与していると考えられるため、順調と判断。  【課題】 市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。また、NPOへの資金的な支援は今後も継続して実施していく。	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。また、NPOへの資金的な支援は今後も継続して実施していく。	
					実績	31 法人	47 法人						係長	0.60 人						
					達成率	103.3 %	104.4 %						職員	1.50 人						
	NPO公益活動支援事業	市民活動推進課	市民活動の更なる促進を図るため、NPO等が専門性を発揮して行う事業に経費の一部を補助する。また、市が設定したテーマに基づいた、NPOと市の協働事業に対し、経費の一部を補助する。	サポートセンター利用者数	目標	21,000 人	23,000 人	24,000人 (H28年度)	4,439	3,885	4,399	4,650	課長	0.10 人	順調	補助交付事業件数及び成果発表会の参加人数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の評価指標「新規設立NPO法人数」「市民活動サポートセンター利用者数」「補助交付事業件数」「成果発表会の参加人数」は目標を上回っており、市民活動の活性化に寄与していると考えられるため、順調と判断。  【課題】 市民活動のさらなる促進のため、新たな活動参加者の掘り起しが必要と考える。		
					実績	22,935 人	23,127 人						係長	0.20 人						
					達成率	109.2 %	100.6 %						職員	0.20 人						
Ⅲ-3-(2)-② NPO、企業、研究機関などの連携の構築	まちづくりステップアップ事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動や地域の活性化に資する新たなまちづくり活動に対し、事業費の一部を補助する。	補助交付事業件数 (累計)	目標	42 件	48 件	74件 (H28年度)	6,182	5,606	6,004	1,220	課長	0.03 人	順調	NPO等に対する補助交付件数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「NPO等に対する補助交付件数」は目標を達成した。地域課題の解決に向けた多様な事業が実施され、市民の交流促進や地域の活性化等につながったため順調と判断。  【課題】 引き続きNPO等に助成を実施するとともに、事例をHP等で紹介し、市民主体の活動を促進していく。		
					実績	52 件	62 件						係長	0.05 人						
					達成率	123.8 %	129.2 %						職員	0.05 人						
	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。	NPO等に対する補助交付件数 (累計)	目標	180 人	230 人	330人 (H28年度)	1,200	838	1,179	4,650	課長	0.10 人	順調	NPOとの協働についての研修への参加人数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「NPOとの協働についての研修への参加者数」は目標を上回った。研修に参加した団体同士のネットワーク化が図られ、協働につながった例もあったことから順調と判断。  【課題】 協働に対する、さらなる理解の浸透が必要。	多様化・複雑化する市民ニーズに対応しながら、市とNPO等とが、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要であり、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に努める。	
					実績	199 人	250 人						係長	0.20 人						
					達成率	110.6 %	108.7 %						職員	0.20 人						
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数 (累計)	目標	400 人	550 人	850人 (H28年度)	1,200	838	1,179	4,650	課長	0.10 人	順調	NPOとの協働についての研修への参加人数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「NPOとの協働についての研修への参加者数」は目標を上回った。研修に参加した団体同士のネットワーク化が図られ、協働につながった例もあったことから順調と判断。  【課題】 協働に対する、さらなる理解の浸透が必要。	多様化・複雑化する市民ニーズに対応しながら、市とNPO等とが、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要であり、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に努める。	
					実績	536 人	639 人						係長	0.20 人						
					達成率	134.0 %	116.2 %						職員	0.20 人						

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる市役所づくり	NPO・ボランティア活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数 (累計)	18法人 (H24年度)	目標 30 法人	45 法人	75法人 (H28年度)	19,053	16,233	15,314	20,700	課長	0.30 人	順調	新規設立NPO法人数及びサポートセンター利用者数が目標を達成しており、市民活動は促進しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の評価指標は全て目標を上回った。特に、NPOとの協働事業数は年々増加しており、市民との協働によるまちづくりに対する理解が深まってきていると評価できるため、順調と判断した。  【課題】 市民との協働のまちづくりを推進していくためには、市民活動の新たな担い手づくりや、協働に対するさらなる理解浸透を図る必要がある。	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。 また、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。	
					実績 31 法人	47 法人														
					達成率 103.3 %	104.4 %														
	サポートセンター利用者数	18,362人 (H20年度)	目標 21,000 人	24,000人 (H28年度)	19,053	16,233	15,314	20,700	係長	0.60 人	順調	新規設立NPO法人数及びサポートセンター利用者数が目標を達成しており、市民活動は促進しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の評価指標は全て目標を上回った。特に、NPOとの協働事業数は年々増加しており、市民との協働によるまちづくりに対する理解が深まってきていると評価できるため、順調と判断した。  【課題】 市民との協働のまちづくりを推進していくためには、市民活動の新たな担い手づくりや、協働に対するさらなる理解浸透を図る必要がある。	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。 また、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。					
		実績 22,935 人	/																	
		達成率 109.2 %																		
NPOとの協働事業数	103件 (H20年度)	目標 /	175 件	195件 (H28年度)	1,200	838	1,179	4,650	職員	1.50 人	順調	NPOとの協働についての研修への参加者数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「収入増加団体数」は目標を達成した。 NPOの課題である資金調達力の向上に対する効果的な支援ができたため、順調と判断。  【課題】 行政と対等に協働できる経営基盤や事業の企画実行力を持つNPOが少数である。	資金調達力の向上により経営面で自立を目指す団体に対して、セミナー等側面的な支援を継続して行っていく。					
	実績 /	175 件																		
	達成率 /	100.0 %																		
「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数 (累計)	203人 (H22年度)	目標 400 人	550 人	850人 (H28年度)	1,200	838	1,179	4,650	課長	0.10 人	順調	NPOとの協働についての研修への参加者数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「収入増加団体数」は目標を達成した。 NPOの課題である資金調達力の向上に対する効果的な支援ができたため、順調と判断。  【課題】 行政と対等に協働できる経営基盤や事業の企画実行力を持つNPOが少数である。	資金調達力の向上により経営面で自立を目指す団体に対して、セミナー等側面的な支援を継続して行っていく。		
				実績 536 人	639 人															
				達成率 134.0 %	116.2 %															
IV-2-(2)-② ソーシャルビジネス創出の支援	持続可能なNPO育成モデル事業	市民活動推進課	経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	収入増加団体数 (累計)	3団体 (H26年度)	目標 /	3 団体	9団体 (H28年度)	2,000	1,692	-	4,650	課長	0.10 人	順調	収入増加団体数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業の成果指標「収入増加団体数」は目標を達成した。 NPOの課題である資金調達力の向上に対する効果的な支援ができたため、順調と判断。  【課題】 行政と対等に協働できる経営基盤や事業の企画実行力を持つNPOが少数である。	資金調達力の向上により経営面で自立を目指す団体に対して、セミナー等側面的な支援を継続して行っていく。	
					実績 /	3 団体														
					達成率 /	100.0 %														

平成26年度 行政評価の取組結果 (市民文化スポーツ局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度		人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
IV-4-(1)-② 偉人・先人の顕彰	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数(単位:人)	10,741人 (H23年度)	目標	13,000 人	22,000 人	22,000人 (H26年度)	20,452	20,218	18,923	12,625	課長	0.50 人	順調	企画展開催回数および入館者数ともに目標を大きく上回ったため、順調と判断。	順調	【理由】 目標値に届かなかった事業もあるが、利用者の満足度が高いことを鑑み、他事業と総合的に評価すれば順調であると判断。 【課題】 入館者数の増加に繋がるように、施設の認知度を向上させ、文化に接する機会の提供に努める必要がある。	北九州ゆかりの作家や事業内容について効果的に市内外へ発信できるよう、また、夏休み期間など集客に繋がる事業に取り組めるように進めていく。
					実績	13,211 人	26,564 人	係長						0.50 人						
					達成率	101.6 %	120.7 %	職員						0.25 人						
	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	【研究センター事業】 ①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業を行う。 ②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を行う。 ③研究誌を発行。 【普及事業】 ①企画展を開催。(年2回) ②講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (22年度)	目標	60000 人	60000 人	—	12,958	11,935	12,368	23,250	課長	0.50 人	やや遅れ	平成26年度は2回の企画展を開催し、12,306人の入場者があったが、内容についてもアンケート結果で好評を得た。また、開館記念講演会、年2回の松本清張研究会の開催など質の高い文化に接する機会を提供しており、活動の状況としては順調と考える。	順調	【理由】 目標値に届かなかった事業もあるが、利用者の満足度が高いことを鑑み、他事業と総合的に評価すれば順調であると判断。 【課題】 入館者数の増加に繋がるように、施設の認知度を向上させ、文化に接する機会の提供に努める必要がある。	北九州ゆかりの作家や事業内容について効果的に市内外へ発信できるよう、また、夏休み期間など集客に繋がる事業に取り組めるように進めていく。
実績	49575 人	41025 人	係長	1.00 人																
達成率	82.6 %	68.4 %	職員	1.00 人																
企画展入場者の満足度	85% (22年度)	目標	90 %	90 %	—	90 %	90 %	—	94.4 %	95.6 %	—	94.4 %	95.6 %	—	—	—	—	—	—	
IV-4-(2)-③ 都市イメージの向上	映像製作誘致強化事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果)	100,000千円 (H21年度)	目標	100,000 千円	110,000 千円	—	22,392	13,769	12,385	23,600	課長	0.40 人	順調	成果指標として掲げた撮影隊の市内滞在に伴う地域経済への貢献 (直接経済効果: 目標110,000千円→実績105,980千円)、北九州フィルム・コミッションの市民への認知度 (目標60.0%→実績59.9%) とともに、概ね目標値を達成した。	順調	【評価理由】 映画等の撮影支援を通して、本市の知名度・都市イメージの向上や経済効果のほか、にぎわいの創出、シビック・プライドの醸成などの効果に現れている。 【課題】 今後は、これらの効果をさらに高めるため、 ・映画も芸術文化の一つとして地域文化に根付かせること ・これまでの事業の成果を街のにぎわいづくりに活用していくこと ・新たな観光客の獲得を見据え、海外映画の誘致に力を入れることが重要と考える。	これまでの映画等の誘致の成果を活用し、街の魅力を市内外に発信するとともに、国外における本市の知名度アップやインバウンドの増加につなげるため、アジア諸国の映画、テレビドラマの誘致・支援にも本格に取り組むことで、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの確立に向けた取り組みを推進する。
				実績	310,440 千円	105,980 千円	係長	1.00 人												
				達成率	310.4 %	96.3 %	職員	1.20 人												
				北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	目標	60.0 %	60.0 %	—	59.8 %	59.9 %	—	99.7 %	99.8 %	—	99.7 %	99.8 %	—	—	—
VI-1-(1)-① 市民の力で環境力を高める仕組みづくり	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数 (累計)	6件 (H24年度)	目標	10 件	15 件	23件 (H28年度)	5,000	4,707	9,374	4,650	課長	0.10 人	順調	補助交付事業件数が目標を達成しているため「順調」と判断。	順調	【評価の理由】 事業の成果指標「補助交付事業件数」は目標を上回り、また、NPOの専門性が活かされた先進的な事業が実施されているため、順調と判断。	協働の理解浸透を図る研修、成果発表会の開催、事例紹介等を通して、行政と協働できるNPOの育成に努める。
				実績	11 件	16 件	係長	0.20 人												
				達成率	110.0 %	106.7 %	職員	0.20 人												